

学 年	教科等	単元名	日 時
第3学年	外国語活動	This is for you.カードをおくろう (第3時)	令和7年11月6日(木)

1 本時の目標

相手に喜んでもらえるようなグリーティングカード作りに必要な材料を集めるために、仲間に伝わるように工夫して、欲しいものを尋ねたり答えたりする。

2 指導過程

学習活動及び学習内容（★は評価にかかわるもの）	「自律的に学ぶ」ための手立て
1 本時の見通しとゴールイメージをもつ。 ○ 単元ゴールと My Goal ○ 本時のめあて グリーティングカード作りに必要な材料を集めるために、工夫してやり取りをしよう。 2 ペアで試しのやり取り（1回目）を行う。 ○ 欲しいものを尋ねたり答えたりする表現 ○ ふりかえり①（評価・助言⇒再構築） 表現の工夫の例 相手の目を見る、形のジェスチャーをする、反応する、笑顔で聞く・話す、ゆっくり話す、色や形を伝える 等 3 代表のやり取りを視聴し、表現の工夫について話し合う。 ○ 代表ペアの表現の工夫 ○ 全体での共有（みんなでの話し合い） 表現の工夫の例 挨拶をする、気分を尋ねる、好きなものを尋ねる、数を尋ねる・伝える、大きさを尋ねる・伝える、相手の言ったことを繰り返す 等 ふりかえりの視点（やり取りのポイント） 4 グループでやり取りを行い、ふりかえりの視点を基に、互いの表現をふりかえる。（★） ○ ふりかえりの視点を生かした表現の工夫 ○ ふりかえり①（評価・助言⇒再構築） 再構築したやり取りの例 A: Hello. B: Hello. A: How are you? B: I'm great. A: What do you want? B: Big blue circle, please. A: OK! How many? B: Three, please. A: OK! Here you are. Do you like blue? B: Yes, I do. Thank you. A: You're welcome. 大きさにについても伝えよう。 数を尋ねてみよう。 問いかけを入れてみよう。 5 本時の学習をふりかえる。 ○ ふりかえり②（記述） ・ 自分の表現の変容とその要因 ・ 仲間のよかった表現	○ 単元ゴールや My Goal を確認する場を設けることで、どのようなグリーティングカードを作りたいかを再確認し、相手意識や目的意識をもって本時の活動に取り組むことができるようにする。 ○ グリーティングカード作りに必要な材料を集める買い物のような活動を設定することで、場面や状況等を意識しながら、やり取りの表現を工夫することができるようにする。 ○ 試しのやり取りの後、意識したところや、仲間の表現のよかったところは何かを問うことで、自分や仲間の表現の工夫に目を向け、互いの表現を見つめ直すことができるようにする。 ○ 代表ペアのやり取りを視聴する場を設けることで、表現の工夫を客観的に捉えられるようにし、自分や仲間の表現を見つめ直すためのふりかえりの視点を見いだすことができるようにする。 ○ 数を尋ねたり、大きさ等も伝えたりしているペアを取り上げることで、自分にはなかった視点に気付くことができるようにし、2回目の言語活動に生かすことができるようにする。 ○ グリーティングカード作りに必要な材料のやり取りをする際に、学習支援アプリを用いて数や大きさ等を操作できるようにすることで、より自分の思いに沿った材料を集めることができるようにする。 ○ ふりかえりが滞っているグループには、「3」で共有したふりかえりの視点を基に助言することで、数や大きさ等を尋ねたり、欲しい材料の特徴を具体的に伝えたりすることができるようにする。 ○ 表現を再構築した代表ペアのやり取りを視聴する場を設け、再構築した表現をふりかえりの視点と結び付けて価値付けることで、表現を見つめ直して工夫することのよさを実感することができるようにする。 ○ 表現が変容した理由やきっかけが何であるかについて選択肢から選ぶことができるようにすることで、表現の変容とその要因を関連付けてふりかえり、表現の高まりを自覚することができるようにする。

4 板書 等

11月6日(木) Unit7 This is for you!

やること

- ① Greetings
- ② Warming up
- ③ Activities
- ④ Comments
- ⑤ Greetings

単元の GOAL★

相手がよさそうぶようなグリーティングカードを作るために、ひつような材料を集めるやり取りをしよう。

GOAL★

グリーティングカード作りにひつような材料を集めるために、楽しく、分かりやすく伝えて、やり取りしよう!

店員さん

What do you want?

OK. Here you are.

Yes.

お客さん

How are you?

A 色、形 please.

Big 大きき Thank you!

Small

やりとりのポイント

反応

聞は、やさし

くり返す

コミュニケーションのポイント

ジェスチャー

表情

グリーティングカードの例

☆ふりかえり

◎ どんなところがよくなったか

◎ よくなった理由

◎ 仲間のよかったところ

☆ふりがえり		☆ふりがえり	
【自分の表現がかわった理ゆう】 ・アドバイス ・そうだん ・友だちのはんのう ①みんなでの話し合い ・そのた【	【どんなところがよくなった?】 さいしょは、ヒックヤスモルレなどを をい、ていながたけれど、 <u>みんなの話し合いで</u> でていたから使、て みたらうなずいてくれたので、また使 いたい。	【自分の表現がかわった理ゆう】 ・アドバイス ・そうだん ①友だちのはんのう ・みんなでの話し合い ・そのた【	【どんなところがよくなった?】 わたしは、ほしり开始言うのと友だち <u>がくり返して言、てくれたから、</u> <u>わたしも、くり返そうと思、たこと</u> です。

【図 1 授業後の子どものふりかえり（記述）】

5 指導講評

宮崎県教育庁 義務教育課 岩崎 香恵 副主幹

- 子どもが仲間とともに表現を高め合うためには、全体での話し合いの場（中間指導）が大切である。代表のやり取りから、表現のよさを見付け、やり取りのポイントとしていく手立ては有効であった。今後は、みんなでの話し合いにおける子どもの発言に対する教師のフィードバックの在り方や、代表ペアの選定の仕方を工夫できるとよい。
- 単元ゴールを設定する際に、グリーティングカードを贈る相手を子どもに委ねたことはよかった。子どもの思いを大切にすることで、My Goal にもつながったのではないかと考える。
- 言語活動において、タブレット型端末を用いてやり取りを行うよさもあるが、本単元の内容や子どもの実態を踏まえると、具体物を用いたやり取りの方がよかったのではないかと考える。子どもに意識してほしいやり取りのポイントにつながるような場の設定を検討していく必要がある。
- 外国語活動における子どもの「ふりかえり」や「省察」の姿を具体的に考え、発達の段階に応じた手立てを講じる必要がある。1回1回のコミュニケーションによって、表現が少しずつ高まっていることを子どもが実感できるような手立てを考えていけるとよい。

6 考察

【研究内容1：仲間とともに表現を高め合うためのプロセスの在り方】

- ① 自分や仲間の表現を見つめ直し、再構築へとつなげる言語活動後のふりかえり（ふりかえり①）

1 回目の言語活動後に、やり取りにおける表現の工夫を全体で共有する場を設け、全体で共有した表現の工夫を「ふりかえりの視点（やり取りのポイント）」としたことで、2 回目の言語活動において、やり取りのポイントを自分事として捉え、意識してやり取りを行う姿が見られた。しかし、あまり生かされていないやり取りのポイントもあったため、全体での話し合いにおける子どもの発言に対する教師のフィードバック（価値付け）の在り方や、子どもがやり取りのポイントを生かして仲間とともに表現を高め合うための場の設定の工夫についても、今後追究していきたい。

- ② 自分の表現の高まりを自覚するふりかえり（ふりかえり②）

授業時間内に指導過程の全てを行うことができなかったため、授業後にふりかえり②を行った。そのふりかえりにおいて、表現がどのように変容したかを問うたり、表現が変容した要因が何であるかの選択肢を示したりしたことで、【図1】のように表現の変容とその要因について関連付けながらふりかえったり、仲間とのかかわりが自分の表現の変容に影響していることに気付いたりする記述が見られた。今後は終末段階のふりかえりの場に加えて、1回1回の言語活動をととして、自分の表現が少しずつ高まっていることを子どもが自覚することができるような手立てを考えていく必要がある。